

# EXHIBIT COLLECTION

at Music Fair 2014

2014.11.21(金)-22(土)-23(日)

Booth No. **E-07**

**TAKE IT FREE**

## 厳選された素材と卓越した技術

ディバイザーブースでは飛鳥ファクトリーの製作によるハンドメイドギター・ベース・ウクレレを一堂展示。各ブランドを通じて多彩な木材を使用したカスタムメイドモデルを製作しました。国内有数の技術を持つ飛鳥ファクトリーのギター作りと厳選された木材によって生まれたギターをお確かめください。



## Kurogaki

日本の歴史的美術工芸品を収蔵する奈良・正倉院の中にも、数多くこの木を使用した木工芸品が見られるように、古くから珍重されている「黒柿」。この黒柿をBACCHUSのベストセラーモデル「WOODLINE DX」に使用した"Exotic Wood Custom" 第三弾モデルです。ターボスイッチを搭載したパッシブモデルとプリアンプ搭載のアクティブモデルをラインナップしました。



画像左

**WOODLINE DX4/E EWC/KG**  
¥180,000(+税)

**WOODLINE DX4-AC/E EWC/KG**  
¥210,000(+税) ※プリアンプ搭載

画像右

**WOODLINE DX5/E EWC/KG**  
¥200,000(+税)

**WOODLINE DX5-AC/E EWC/KG**  
¥230,000(+税) ※プリアンプ搭載

主な仕様

BODY TOP:KUROGAKI  
BODY BACK:ASH 2P  
NECK:MAPLE 1P  
FINGER BOARD:EBONY  
RADIUS:310R(4st),400R(5st)  
MACHINE HEADS:GOTOH GB11W  
PICK UPS:Bacchus JB-ALV set  
BRIDGE:GOTOH/404SJ  
STRING PITCH:1.9mm(4st),1.8mm(5st)  
PREAMP:Bartolini XTCT(※ACのみ)

**Bacchus**<sup>®</sup>  
HANDMADE GUITARS

Exotic Wood Custom



## Aqua Timber Burl Maple

アクアティンバー・パールメイプルを使用したG-STUDIO、そしてT-MASTER。湖の中などで長期間保存されていた木材を指す「アクアティンバー」、中でも木目に特徴のあるパール空が入ったメイプル材をボディトップに使用し、素材の色合いを大事にナチュラルとブラウンバーストの2カラーを製作。

注目のピックアップ「MOJOTONE」を搭載し、幅広いサウンドメイクが可能です。



画像左

**G-STUDIO EWC/ATBM**  
¥210,000(+税)

画像右

**T-MASTER EWC/ATBM**  
¥200,000(+税)

主な仕様

BODY TOP:AQUA TIMBER BURL MAPLE  
BODY BACK:ASH 2P  
NECK:MAPLE 1P  
FINGER BOARD:EBONY  
RADIUS:280R  
MACHINE HEADS:GOTOH SG360-07  
PICK UPS:MOJOTONE

フレイムレッドウッド × ホロウボディ

Seventy Seven  
GUITARS



ALBATROSS-EWC/RW  
¥210,000(+税)

STORK-EWC/RW  
¥240,000(+税)

主な仕様

BODY TOP:FLAME RED WOOD  
BODY BACK:AFRICAN MAHOGANY  
NECK:AFRICAN MAHOGANY  
FINGER BOARD:EBONY  
RADIUS:310R  
MACHINE HEADS:GOTOH SD90-SLB  
PICK UPS:SeventySeven AL255  
FINISH:TOP LACQUER

Flame Red Wood

主にアメリカ西海岸に自生する、平均 80 メートルにも及ぶ大高木「レッドウッド」をボディトップに使用した特別モデル。アコースティックギターのボディトップに使用されるスプルースにも近い柔らかな木材で、ボディバック材との組み合わせからウォームなサウンドが得られます。幅広のリボン歪が特徴で、今回深みのあるレッドカラーに仕上げました。

Demonstration

ブースではフェア期間中デモンストレーションを開催！歴戦のプロミュージシャンが、最高のパフォーマンスで楽器のポテンシャルを最大限に引き出します。一聴の価値あり！

※当日の演奏スケジュールは楽器フェア公式サイト、またはデバイザーブースにてご確認ください。



Julian Burdock

ロンドン在住の modern blues, UK R&B 界で活躍しているギターリスト兼ボーカリスト。

SeventySeven Guitars ALBATROSS の他エレキギターを使用したソロパフォーマンスを予定。ブルース、ロックからジャズまでジャンル問わずパワフルなフレージングは必見です。



Danny M Stewart

ジャズ/フュージョンをベースとして都内を中心に活動するベーシスト。精力的な演奏活動と平行してレッスンなど後進の指導にもあたる。

Bacchus や STR Guitars のエレキベースを中心としたソロパフォーマンスを予定。

**Headway**<sup>®</sup>  
GUITARS  
Custom Shop series

## 百瀬恭夫・渾身の3機種を出展!

ヘッドウェイカスタムショップからは2014年初めて採用された「エボニーロッド」仕様のギター3機種を展示。ファクトリーの木材ストックの中で最も厳選された木材を使用した、それぞれが唯一無二の存在感を放ちます。



### *Cuban Mahogany & Adirondack Spruce*

アコースティックギターの目玉は「幻のマホガニー」と謳われる「キューバンマホガニー」を使用した百瀬恭夫カスタムショップ製のHD-180。2014年春のハンドクラフトギターフェスでも好評だったエボニーロッドで製作しました。マホガニーの中でも硬質な傾向にあるキューバンマホで作られたギターは一体どんな音がするのでしょうか。会場でお確かめください。

**HD-180** ¥580,000(+税)



### *Jacaranda & Adirondack Spruce*

百瀬恭夫を始めとするヘッドウェイクラフトマンの技術と、厳選された希少な木材の一つの完成形と言えるハイエンドアコースティックギター。ボディのサイド・バックにはハカランダ、ボディトップにはアディロンダックスプルース、アバロンバインディングに加え、トーチインレイと随所に贅をこらした特別モデルです。2014年の百瀬の試みとして注目すべきエボニーロッド仕様。ただの高級品ではなく常に前進する百瀬とヘッドウェイギターを象徴する、まさにフラッグシップモデルです。

**HD-450** ¥1,200,000(+税)



### *Madagascar Rosewood & Adirondack Spruce*

ヘッドウェイギターのスタンダードとして多くの方に弾き続けられ、親しまれるHD-115。このHD-115を基本とするエボニーロッド仕様の特別モデルです。アディロンダックスプルーストップ、マダガスカルローズウッドサイド・バックの他、象牙のナット・サドル、本べっ甲ピックガードなど徹底的に素材にこだわったHD-115。エボニーにチタンのサポートを加えた特徴的なロッドを埋め込み、ギター全体が「ウッディに鳴る」という独特のサウンドを会場でお確かめください。

**HD-115EBONY** ¥600,000(+税)

HD-SAKURA  
¥300,000(+税)  
HF-SAKURA  
¥300,000(+税)



長野県産のサクラをボディのサイド・バックに使用したギター。質感にこだわったインレイは必見。



HD-MAGNOLIA  
¥320,000(+税)

「ホオノキ」をボディに使用。淡く緑色がかった色味と特徴のある杓が特徴です。



HD-115SE/STD  
¥220,000(+税)  
HF-415SE/STD  
¥220,000(+税)

アディロンダックスプルースを使用したヘッドウェイスタンダードシリーズ特別モデルを展示。

Headway  
GUITARS

## ASKA Team Build series Standard series

ヘッドウェイ・ASKA TEAM BUILD series と STANDARDseries から希少な木材、個性的な木材を使用した特別モデルを多数展示。ルックスはもちろんのこと、サウンドのキャラクターもモデルそれぞれに特徴的に仕上がりました。会場では各モデルを実際に手にとって試奏いただけます。めったに見られない素材から生まれた新しいサウンドをその耳でお確かめください。



HD-115EAGLE  
¥280,000(+税)

ヘッドウェイで多く取り入れられる「イーグルインレイ」をフィーチャーした特別モデル。



HD-DEERII  
¥320,000(+税)  
HF-DEERII  
¥320,000(+税)

鹿をモチーフとしたインレイ、ブラジリアンウォールナットをボディサイドバックに使用したモデル。



## Atelier Design

音符をモチーフにサウンドホールを彩った UCS-VN と UCS-VN CTM、そして「ホヌが月へ向かって歩を進める」という幻想的なシーンをインレイで表現した UCS-HONU。ショーモデルとしてクラフトマンが腕を振ったコンセプトウクレレを展示します。



UCS-VN ¥120,000(+税) UCS-VN CTM ¥180,000(+税) UCS-HONU ¥150,000(+税)



抱えやすく、立ち上がりの良いサウンドが心地よい Mabuhay Ukulele の新しいソプラノウクレレ「MTS-11」は従来の2/3程度にボディの厚みを抑えたスリムなボディシェイプが特徴です。



MTS-11  
¥40,000(+税)



## Thin Body Shape

## メモリアルモデル #5000 展示



MC#5000 実物は会場でお確かめください。

momose Custom Craft Guitars 一本一本に記されるシリアルナンバー。ブランド開始より通算 5000 本目となるメモリアルモデルを製作します。momose Custom Craft Guitars は飛鳥ファクトリーのフラッグシップブランドとしてスタート。厳選された木材を熟練のクラフトマンが製作するギターは少しずつ認知を高め、今では多くのプレイヤーの方から支持を得るブランドとなりました。今後の更なる飛躍への希望を込めたマイルストーンとなる MC#5000 を製作し、2014 楽器フェアにて展示いたします。

*Momose*  
Custom Craft Guitars

## Flame Ash

明瞭な柀目の導管と交差するように入った杓が印象的なフレイムアッシュを使用した特別モデル。この独特の木目を生かすように鮮やかで発色の良いカラーリングと、ブラウンのピックガードで仕上げました。サウンド面でも、アッシュの立ち上がりの良さが見た目のインパクト同様際立っています。



MST2-LTD F-ASH MTL2-LTD F-ASH MJM2-LTD F-ASH MJB2-LTD F-ASH



# 漆

ひと目見ただけでは伝えないうるし塗りの魅力について、今回の特別モデルの漆塗りを担当した長野県・「彩漆 KOBAYASHI」の小林登さんにお話をうかがいました。

## 拭き漆と石目仕上げ

今回エレキギターやベースへの漆塗りというところで、アッシュやアルダーといった木材への塗装でした。普段目にする木と比べて印象はどうでしたか？

小林登（以下小林）：普段よく塗装するのはケヤキやセン、クリといった木が多いと思います。特に私がよく行う「拭き漆」という手法の場合は木目を引き立てる仕上げですから、導管が目立つような木が多いですね。

アッシュの木は、拭き漆との相性も良く綺麗に仕上がったと思います。また、木目が控えめなアルダーは「石目」と呼ばれる手法で仕上げました。

アッシュボディに施した「拭き漆」とはどういった作業の流れなのでしょう。小林：まずは漆を塗る木地が平らになるように、下地をつくります。今回は飛鳥工場にて下地を整えた後のボディを用意してもらったので、ここへハケを使って漆を塗っていきます。

塗った漆を今度は専用の特殊な紙で拭き取ります。このとき木目やその個性を見極めながら作業を行います。塗る前に塗装面の研ぎなどの調整を行

い、ボディ全体を20分かけて塗り、拭きあげてしばらく乾燥させます。この塗って乾かす工程を6回程繰り返します。

1塗って乾かす回数はどうやって決まるのですか。

小林：一般的に棚や木工品などは4回、5回ものもありです。塗り重ねるほど、わずかではありませんが塗膜が形成されることもあり、仕上がりのツヤや質感に違いがあります。今回ギターのボディに塗るということで高級感があり、しつとりとしたツヤが出るように6回ほど塗り重ねてあります。

1では、今回アルダーに使用した「石目」という手法はどういったものなのでしょうか。

小林：石目は下地を平らにした木地に對して漆の粉や地の粉、木粉を撒き、更にならぬように塗り、研ぐことで表面に独特の凹凸を持った質感に仕上げる手法です。撒いた粉の上に漆を塗り重ね、ツヤを与えます。更に適度に研ぎを加えることで、全体の質感を整えます。

磨きが少ないとザラザラと毛羽立った印象になってしまうため、バランスを見ながら研ぎあげます。更に漆を2〜3回塗り、最後に色を含んだ漆を塗ります。

## 拭きうるし

## 石目仕上げ



## 漆塗り × momose Custom Craft Guitars



## 日々使い続けられるものとして

漆塗りのギターのお手入れについて気をつけることはありますか。

小林：日々のお手入れはクロスや乾拭きが最適です。ポリッシュや研磨剤が含まれた化学クロスなどは塗膜が傷む原因になりますから気をつけてください。少し目立つ汚れがついてしまった場合は、水を固く絞ったクロスで拭くことをお勧めします。

いわゆるエレキギターのラッカー塗装だと、色焼けやクラッキングという経年変化が見られますが、漆の場合経年変化はありますか。

小林：漆は紫外線への耐性が比較的弱いと言われます。拭き漆の場合は経



年によって

少しずつ色

が抜けてい

き、淡い色

合いに変化

します。木

目の中で導

管に入った

濃い色は残

るためコン

トラストが

ついてくる

と思います。

1このギターを通じて伝えたいことは

ありますか？

小林：私は特に拭き漆と石目仕上げを

長くやっていることもあり、基本的には

普段使ってもらう道具としていろんな

な人に使ってもらえればと考えていま

す。

漆はもつとも優れた天然塗料です。漆

器の器は高価なものと思われて日常使

いから敬遠されがちですが、今回ギ

ターに施した拭き漆のように木地に吸

い込ませた仕上げもあります。もちろ



彩漆 KOBAYASHI  
小林 登  
長野県東筑摩郡朝日村西洗場 1236-2



EXHIBIT COLLECTION  
at Music Fair 2014

# STR GUITARS

フラッグシップブランド「STR Guitars」からは2014年10月に中国・上海で開催されたMUSIC CHINAに出展された最新モデルを2014楽器フェアでも出展予定。世界で認められた飛鳥ファクトリーの技術の粋を楽器フェアディバイザーブースにてお確かめください。

TAKE IT FREE

Genuine Quality  
**Deviser**  
Guitars from Japan  
www.deviser.co.jp

株式会社ディバイザー

〒399-0033 長野県松本市大字笹賀 7072-6  
TEL:0263-86-8808 FAX:0263-86-8778

2014.11.21(金)-22(土)-23(日)

Booth No. **E-07**

2014楽器フェア  
11.21(金)11.22(土)11.23(日)

掲載内容は2014年11月1日現在のものです。印刷の性質上掲載画像の色味は実物と異なる場合がございます。掲載内容に関するお問合せはディバイザーカスタマーサポート(0263-57-9608)までお寄せください。